

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

浜松市リハビリテーション病院では、当院の倫理委員会の承認を得て、以下の医学系研究を実施しております。研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意志であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究番号	24-44
研究課題名	錠剤嚥下障害における液体誤嚥の嚥下動態について
研究責任者	原 和也 所属 浜松市リハビリテーション病院
研究実施体制	浜松市リハビリテーション病院 回復期病棟(東1/東2/東3/西1)
研究期間	2023年11月1日 ~ 2025年3月30日
対象者	上記期間中の嚥下障害にて当院にて錠剤嚥下まで嚥下造影検査にて評価した患者 1) 錠剤の内服まで嚥下造影検査にて行った患者 2) 液体嚥下の際に頸部前屈などの姿勢調整等で誤嚥や喉頭侵入がなかった患者
研究の目的	嚥下内視鏡にて錠剤嚥下をした際に喉頭侵入が増えたという報告はあるものの3)錠剤に伴う液体誤嚥に関する報告は少ない。そのため液体誤嚥を引き起こす原因や病態についても不明な点が多い。今回、液体嚥下と錠剤嚥下を嚥下造影検査にて比較を行い後ろ向きに検討を行った。
研究の方法	上記対象期間内に入院した対象者に対して、液体嚥下と錠剤嚥下を嚥下造影検査にて比較を行い、液体及び錠剤嚥下時の頸部角度の違いやpharyngeal delay time(PDT)などについて後ろ向きに検討を行った。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	浜松市リハビリテーション病院 理学療法士 飯尾晋太郎 TEL 053-471-8331(代表) 9:00~17:00 平日